

第 28 回 立命館大学環太平洋文明研究センター研究会

2019年 10月4日（金） 18:00–19:30
立命館大学衣笠キャンパス 以学館 IG405 教室

チャンカイ文化～土器様式とアーバニズム～

講師：市木尚利（立命館大学授業担当講師：考古学）



チャンカイ文化を代表するピスキーヨ・チコ遺跡（撮影：市木）

チャンカイ文化は、紀元後 10 世紀から 16 世紀まで、ペルー中央海岸に形成・発展した先スペイン期の文化です。この文化の研究は 19 世紀末から始まりますが、その社会的実像については現在に至るまで不明な点が数多く残されています。本報告では、チャンカイ文化をめぐる編年、土器様式、アーバニズムに関する課題と今後の展望をお話します。

立命館大学環太平洋文明研究センターは「環境と文明のあり方を根本から問い直し、環太平洋地域の災害と文明の興亡を解明する」ことを目的としてつくられた人類学、環境考古学、地理学、考古学などの研究者からなる研究組織です。定例研究会には、学生、院生、教職員、どなたでもご自由に参加できます。今後、各分野の研究者が持ち回りで発表します。どうぞふるってご参加ください。お問い合わせ先：環太平洋文明研究センター事務局 075-466-3335

HP : <http://www.ritsumei.ac.jp/research/rcppc/>